

2007年6月21日

各位

旭化成ケミカルズ株式会社

溶液重合SBRの能力増強について

－省燃費型高性能タイヤ用新規合成ゴムの増強－

旭化成ケミカルズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：藤原 健嗣）は、この度、今後の市場成長が見込まれる溶液重合スチレンブタジエンゴム（以下、S-SBR）の生産能力を年産10,000トン増強することを決定しましたのでお知らせします。

1. 背景

近年、地球温暖化やエネルギー問題への関心の高まりを背景に、省燃費型高性能タイヤの需要が急拡大しており、今後も世界的に大きな伸びが見込まれています。当社は高い技術力をベースに高性能タイヤ用に最適なS-SBRのグローバルサプライヤーとしてリーディング・ポジションにあります。

今回決定した能力増強は、今年4月に上市した変性タイプの新規S-SBRが、抜群の省燃費性能により、今後大きな販売増が期待できることから、安定供給体制を早期に構築すべく実施するものです。

当社では市場ニーズにマッチした高性能合成ゴムの開発強化、製造プロセスの特長を活かした製品ラインアップの充実、生産拠点の能力増強により、高性能タイヤ用S-SBR事業を積極的に拡大しており、本件はかかる計画の一環として推進するものであります。

2. 能力増強計画の概要

- ・工場立地：日本エラストマー株式会社 大分工場（大分県大分市）
- ・能力増強：10,000トン／年（能力増強後の大分工場生産能力は62,000トン／年）
- ・稼動時期：2008年4月

3. 合成ゴム・エラストマー事業について

当社の合成ゴム・エラストマー事業は、旭化成グループの中期経営計画「**Growth Action—2010**」において、グローバルに事業展開をはかる戦略拡大事業と位置付けられており、積極的な資源投入により生産能力の増強、技術の高度化を進めています。その中でも高性能タイヤ用S-SBR事業は最重要分野のひとつとして、今後とも重点的に強化拡大を図る計画です。

以上

<ご参考>

日本エラストマー株式会社の概要

- (1) 社 長 : 勝田 一誠
- (2) 設 立 : 1972年8月
- (3) 出資構成 : 旭化成ケミカルズ株式会社 75%、昭和電工株式会社 25%
- (4) 本 社 : 東京都千代田区有楽町 1-1-2
- (5) 工 場 : 大分工場（昭和電工（株）大分コンビナート内）
- (6) 事業内容 : 合成ゴム・エラストマーの製造・販売

【本件に関するお問い合わせ先】

旭化成株式会社 広報室

T E L 03-3507-2060

旭化成ケミカルズ株式会社 合成ゴム事業部

T E L 03-3507-2988